

ともに一歩前へ

対話を通して見いだした納得できる価値や判断を大切にしながら自分も周りもともに成長する学校

〈学校教育の基本方針〉

- 互いを理解し、納得しながら前へ進む
- 違いは間違いではなく、学びの出発点にする



- 自ら考え、主体的に行動して、責任をもって学級や学校に貢献する
- 学校行事は、学びの発揮の場と捉える
- 明日も学校へ通いたくなるよう毎日を大切に過ごす

学びの源

学級づくり 授業づくり



本校のキャラクター「とのめん」

目指す子どもの姿

学びの手立て 大切にすること	「対話」を重視	「いい感じ」の追求	挑戦する
言葉を大切に	思い、考え、感情（内面）を言葉にする	安心、信頼、認め合いを言葉にする	自分の意見を言うことも挑戦とする
関わりを大切に	日頃から、違いを出し合いきき合う	「今の学級、授業いい感じ？」と確認し合う	振り返りを通して、取組の意欲を高める
安心を大切に	互いを尊重し考えや気持ちを誰にでも発言する	みんなで分かろうとすることを大切にする	やってみる人を応援する

校内研究の取組「読書が促す、資質・能力の発揮と伸長（3年次）」

読書活動を推進することはグランドデザインを支える基盤です。読書は正解を見付けることではなく、自分の感じ方や考え方を大切にすることにつながります。

本を読むことは、「心が動く⇒自分の考えを言葉で表現する⇒友達と伝え合う⇒考え方が広がる、深まる⇒多様な読み、感じ方を認め合う」ことを促します。まずは一人一人の違いを認め合うこと、その上で思いや考えを共有し、自分も周りも一歩前へ！を実現します。自分らしい読書を推奨し、ともに成長していく力を高めていきます。

保護者、地域、学校職員の構え

保護者の皆様、地域の皆様も「ともに一歩前に」歩む同志です。ともに子どもたちの成長を支えていただくようお願いいたします。

- 1 正解を示すのではなく、すべて子どもと共に考える人
- 2 判断を下すのではなく、子どもの考えや気持ちを聴く人
- 3 子どもの成長を心から喜ぶ人

上越市教育大綱 「わくわくを未来へ」

上越市学校教育目標 「ふるさとを愛し、自立と共生ができる子どもを育てる」

雄志中学校区学校教育目標 「共創」 雄志中学校区の目指す子ども像 「共に喜びを感じ、自己実現していく子ども」